

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年8月22日(2023.8.22)

【公開番号】特開2023-76526(P2023-76526A)

【公開日】令和5年6月1日(2023.6.1)

【年通号数】公開公報(特許)2023-101

【出願番号】特願2023-45818(P2023-45818)

【国際特許分類】

G 07 G 1/12(2006.01)

10

G 06 Q 20/20(2012.01)

【F I】

G 07 G 1/12 321 E

G 07 G 1/12 321 K

G 06 Q 20/20 300

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月10日(2023.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のモードのうちいずれかのモードで動作し、顧客が商品登録と精算とを行うモードから他のモードへ切り替え可能な切替手段を備えた商品販売データ処理装置であって、前記切替手段は、

他の装置からの指示により自装置のモードを切替える第1の切替手段と、

自装置の指示により自装置のモードを切替える第2の切替手段と、

備えることを特徴とする商品販売データ処理装置。

30

【請求項2】

前記第1の切替手段は、他の装置から登録データが送信されたことによりモードを切替え、

前記第2の切替手段は、店員がログインしたことによりモードを切替える、ことを特徴とする請求項1に記載の商品販売データ処理装置。

【請求項3】

前記第1の切替手段は、自装置に登録データがある場合にはモードの切替えを禁止し、前記第2の切替手段は、自装置に登録データがある場合でもモードの切替えを許可することを特徴とする請求項1または2に記載の商品販売データ処理装置。

40

【請求項4】

複数のモードのうちいずれかのモードで動作し、顧客が商品登録と精算とを行うモードから他のモードへ切り替え可能な切替手段を備えた商品販売データ処理装置としてコンピュータを機能させるプログラムであって、

前記切替手段は、

他の装置からの指示により自装置のモードを切替える第1の切替手段、

自装置の指示により自装置のモードを切替える第2の切替手段、

として機能することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した課題を解決するために、本発明の一態様である商品販売データ処理装置は、複数のモードのうちいずれかのモードで動作し、顧客が商品登録と精算とを行うモードから他のモードへ切り替え可能な切替手段を備えた商品販売データ処理装置であって、前記切替手段は、他の装置からの指示により自装置のモードを切替える第1の切替手段と、自装置の指示により自装置のモードを切替える第2の切替手段と、備えることを特徴とする。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述した課題を解決するために、本発明の一態様であるプログラムは、複数のモードのうちいずれかのモードで動作し、顧客が商品登録と精算とを行うモードから他のモードへ切り替え可能な切替手段を備えた商品販売データ処理装置としてコンピュータを機能させるプログラムであって、前記切替手段は、他の装置からの指示により自装置のモードを切替える第1の切替手段、自装置の指示により自装置のモードを切替える第2の切替手段、として機能することを特徴とする。

20

30

40

50